

みずくらんど 13

福生市史研究
1991 晩秋



福生市

大正初期の福生駅前通り

大正13年(1924)に刊行された『青梅鉄道三十年誌』には、福生駅のことが、「西多摩郡福生村多摩川の近くであり、五日市町に通ずる要路、砂利木材の発送多し。」とあります。近隣から集められた木炭や木材等が鉄道により輸送されます。大正初期には物資の集散地として、永田、長沢などの旧村落から、駅周辺の停車場(テンシャバ)地域に経済活動の中心が移り始めます。これはその頃の駅前風景。(写真提供 郷土資料室)